

令和7年度芸西小学校の取組

【市町村基本理念】

ふるさとを大切にする 心豊かに芸西村の未来を切り拓く人づくり

【芸西村教育研究協議会 研究テーマ】

～保幼小中の連携を通した、学力・読書活動・体力・食育の向上～

令和7年5月22日（木）

校長 近藤 理恵

令和6年度の取組から見た児童の課題

- 学力状況調査の結果等を見ると、算数科の学習の定着に課題がある。
- 主体性が高まりつつあるが、課題発見力には課題がある。
- 人間関係が固定化されがちで一人一人のよさが生かされにくい。
- Q-Uアンケートの「学校生活満足群」の数値が伸び悩んでいる。
- 基本的な生活習慣が身についていない児童が30%以上いる。

【目指す学校像】 意欲にあふれた学校(協働できる学校)

【目指す子供像】

- ◆学ぶことを楽しむ子
- ◆個性を認め合える子
- ◆チャレンジできる子

【目指す教師像】

- ◆授業改善できる教師
- ◆子供を理解できる教師
- ◆信頼される教師

【学校教育目標】

一人一人が元気でかがやく学校

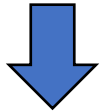
【研究主題】

自ら問いをもち、協働的な学びをを楽しむ子どもの育成

つながりを重視したカリキュラムづくり

- 子供同士をつなぐ授業づくり
- 教科・領域の枠をこえた単元づくり
- 異学年での授業や合同授業の実施
- 地域とのかかわりを深める学び

「わかること」「できること」
が増えていく



評価し児童に認知させる

学ぶ意欲の向上

自分でできる ↔ みんなとできる
↑
クラウドの活用

自己のよさ(強み)への気付き



前にふみ出す力につながる

個別最適な学びと協働的な学びが保障され、
誰一人取り残さない教育の実現につながる

【自分とつながる】

自己理解へつなぐ

★学びの履歴の活用

- 授業計画 板書
- 学びの履歴等
- ポートフォリオ
(ノート ファイル タブレットへの記録等)
- キャリアパスポート



★各種アンケートや
振り返りの活用

- 授業アンケート
- 学校生活アンケート
- 道德意識調査
- 学級満足度アンケート
(Q-U)

【仲間とつながる】

他者理解へつなぐ

【学級の仲間とつながる】

- 環境整備で安心安全を保障する
(ユニバーサルデザイン 合理的配慮)
- 聴き合い、学び合う授業スタイル
- 話し合い活動の活性化
(共によりよい学校をつくる意識の向上)

【学校の仲間とつながる】

- 異学年での活動の活性化
(バリエーションのある縦割り班活動)
- 委員会活動
(委員会同士がつながる取組)
- 言語環境にこだわる取組
(相手意識をもった話し方・聞き方)

【地域とつながる】 ふるさとの理解へとつなぐ

地域学校協働本部の活動の活性化

校内、校外活動への協力

○生活科、総合的な学習の時間を軸に、コーディネーターとの連携を図り、活動を活性化する。

- 1年(春、夏、秋、冬見つけ)
- 2年(町探検)(おもちゃ祭り)
- 3年(ハスモンヨトウトラップ設置回収)
- 4年(川の体験学習、川の歴史)
- 5年(米作り、地産地消)
- 6年(防災施設見学、自主防災の話)

保護者、ボランティア、役場、
青年農業士、自治組織の方など

イベント活動への参画

- 学校で企画する様々な活動に参画・ご意見をいただく。
- 防災イベント(6年)
幸せいっぱい芸西食堂(5年)などの各学年の実施イベント

ゲストティーチャー

- 様々な教育活動にゲストティーチャーを迎える(企業も含め)
- フタガミ、吉良功、赤十字社、和食川建設事務所、土木環境課
高知新聞社、福留建設、トヨタなど



【教職員がつながる】

互いの理解→協働へとつなぐ

学び合える組織づくり

- 授業を観合う
- 様々なチームを協働する
(ブロック 低高 特別支援 若年等)
- 服務に関する研修



学期ごとの面談の実施

- 目標設定シート・学級経営案・学力状況調査を共有→指導
- 努力を評価し、要望を伝える

チーム芸西（職員室だより）の発行

チーム芸西

職員室だより

R7. 4. 23(水)
No.3 発行 近藤

共有・協働できる芸西小を目指します！

週末の参観日に向けて教室の環境整備や、教室でのルールの徹底等に勢力を注いでいるところだと思います。話し方や聞き方のルールは掲示してあるので、できるところからしっかりと指導をしてほしいですし、教室での過ごし方のルールも明らかにして、過ごしやすい教室をつくってほしいです。

支援学級が増えたことや、サポートルーム、支援センターに通う子どももいることから、支援体制が以前と同様にできていない状況があると思います。大変だと思います。始まったばかりの取組が2つもあり、どのような体制で運営するのか決定できていません。子どもたちが学校に来られるように、臨機応変に対応しています。しかしながら、教室で学習している子どもの中にも、学力不足でつらい思いをしている子がいると思うので、何とかもっとよい支援体制を組みたいと考えています。そのために
討が必要です

「D」

子どもたちの笑顔のために…



ご協力をよろしくお願いいたします